

1. 相談実績

年度(4月~12月)	医療職		福祉職	
	R6	R5	R6	R5
実相談者数	78名	63名	117名	64名
延べ相談件数	455件	334件	505件	315件
延べ訪問件数	95件	95件	38件	33件

2. 相談内容

(1) 医療的ケア児・その家族からの相談

- ・聞き取りのための自宅訪問
- ・入園・入学希望学校の見学、面談同行
- ・入園・入学後の保護者からの相談対応
- ・医療的ケアに関する相談、指導 など

(2) 関係機関との連携・相談

- ・入園・入学に関する個別相談・情報共有
- ・通園・通学、放課後児童クラブからの相談対応や会議参加。
- ・退院カンファレンスに参加
- ・放課後児童クラブの利用調整 など

3. 引継ぎ業務 (R7.1月末時点)

内容	実施状況
個別指導 引継ぎ モニタリング	ケース① Aさん 年長 医療的ケア:酸素療法、経管栄養
	ケース② Bさん 小学1年生 医療的ケア:胃ろう、腸ろう、CVポート
	ケース③ Cさん 年長 医療的ケア:気管切開・吸引(気切)
	ケース④ Dさん 小学3年生 医療的ケア:インスリン注射
	ケース⑤ Eさん 中学2年生 医療的ケア:導尿・下肢装具装着
	ケース⑥ Fさん 小学5年生 医療的ケア:下肢装具装着(事故受傷)

4. 研修・周知実績 (R6.4月～R7.3月予定を含む)

仕様書	対象者	内容	回数
保育・教育向け	市立こども園及び待機児童園 園長	園長会にて周知 1. 医療的ケアとは 2. 静岡市医療的ケア児等コーディネーターの業務	1回
	市立小・中学校教員	校長会にて周知 1. 医療的ケアとは 2. 静岡市医療的ケア児等コーディネーターの業務	1回
こども園・ 障害福祉サービス事業所向け勉強会	放課後等デイサービス事業所職員	放課後等デイサービス事業所連絡会 (葵及び駿河・清水)にて周知 1. 医療的ケアとは 2. 静岡市医療的ケア児等コーディネーターの業務	2回
	こども園・放課後等デイサービス事業所及び 児童発達支援事業所職員	「脱水 脱水のサインと予防について」 「排尿 おっしこを出さない危険性と導尿について」 「窒息 窒息のリスク発生と対応について」 「てんかん 浅野医師によるてんかんの基礎知識」 「排便 よくわかるうんちの話とストーマ(人工肛門)について」 「食事はなぜ必要?大切な食事と胃瘻・経管栄養について」	12回
医療的ケア児等コーディネーター(加算型)	県養成研修受講者 相談支援専門員 医療的ケア児等の支援者	知って欲しい! 医療的ケア児者の生活	0回 残り1回
意見交換会	医療的ケア児の家族など	市立小学校に通う医療的ケア児家族との意見交換 特別支援学校に通う家族との意見交換	2回
地域の支援体制の整備への取組	福祉・保育・教育・医療に関わる支援者	医ケア・重心『井戸端会議』 気軽に意見交換できる場所づくり	4回 残り2回

参加者数
延べ176名
(49施設)

5. 効果

(1) 各関係機関にコーディネーターの存在が周知され、関係機関からの相談が増えてきた。

《連携・調整を図った件数》

R5:233件(医)237件(福)計470件 R6:389件(医)362件(福)計751件(281件増)

(2) こども病院の退院カンファレンスに継続して参加することができ、保健師や支援者とのつながりができている。

(3) 特別支援教育センターや学校との連携・協力体制が整ってきた。

・学校看護師、特別支援教育センターの打ち合わせなど

6. 課題・取組

(1) 就園・就学への支援のため、0歳～3歳未満の医療的ケア児等へ早期にアプローチし、関係機関との支援体制を構築

⇒0歳～3歳未満の医療的ケア児の人数等の把握調査の実施を検討

⇒総合病院、保健センターへの連携強化

(2) 入園や入学に関する相談・調整対応を切れ目なく行うため、特別支援教育センターや学校との連携・協力体制の継続

(3) 地域の支援力向上のため、医療的ケア児等コーディネーター(加算型)を含む地域の支援者間の連携体制を構築

⇒定期的な情報交換等ができる場の設置(井戸端会議)

(4) 生活介護を利用している医療的ケアのある方や重症心身障がい者の人数把握を行う

⇒生活介護利用者把握調査を見直し